

特集 ファンタスティックな冬の日光。

インターナショナルな発見の旅

世界遺産である日光を訪れる外国人観光客は年々増え、50万人を超える勢い。彼らが感動する日光の魅力に注目しつつ、冬の日光で新たな発見を!

WELCOME TO SUPER FANTASTIC NIKKO



日本最大の常行堂には四菩薩を従え冠を頂く、珍しい阿弥陀如来が。

常行三昧という修行を行うための常行堂。その本尊・阿弥陀如来は、如来には珍しく孔雀座に座り頭には宝冠を頂くきらびやかなお姿。平安期のもの。

75.5センチの椅材の一木造り。小さくても堂々たる姿。頼れそう。

元は頭頂の柄穴から巾子冠を頂いて笏を構えた姿だった様子。椅一木造りで、片膝を立てていてもなお安定感があるバランスのよいお姿。



世界各国から参拝者が訪れる輪王寺三仏堂は、スピリチュアルな場所

日光三山は古くから山岳信仰のメッカ。輪王寺の三仏堂には8メートルの千手観音(男体山)・阿弥陀如来(女峰山)・馬頭観音(太郎山)の座像が。

157.5センチの立像、一木造り十一面観音立像は、室町時代のもの

日光山(観音霊場「都賀谷山」として信仰され、山中各所に観音様が祀られていた。この仏像は、輪王寺・宝物殿が所蔵。(写真・左)



日 光を初めて訪れたのは、8歳の頃。両親に連れられて、華厳の滝を見に。台湾から日本に移り住んでから5年後でした。

BUDDHA'S POWER GIVES US LUCK & HAPPINESS

ブッダ・パワーで、今年のハッピーをいただきたい

観音様は民衆救済のためにはさまざまな姿に形を変えたりといわれています。また、同じ観音様なのに、日によって表情が違って見え

確かに日光にはたくさん観音様・菩薩様がいらっしゃいますよね。輪王寺の金色の三仏は8メートル以上もあるけれど、30センチほどの、小さな千手観音様もいらっしゃる。

観音様にお願ひすることは、やっぱり、健康が第一番

台湾の人間が、最近日光を訪れるアジア人の中で増えているそう。それも台湾と同様日光が山岳信仰の霊場だからでしょうか。



歌手・女優・木版画家
ジュディ・オングさん

台湾生まれ。3歳で来日、幼いころから子役として活躍。66年に歌手デビュー。79年、「魅せられて」が大ヒット、レコード大賞受賞。現在、歌手、女優、着物のデザインなど、幅広い活動を展開し、チャリティコンサートの企画も行う。木版画家としても活躍し、05年秋には、日展特選入賞を果たす。07年、初のハリウッド映画出演作品が公開予定。

ジュディさんの守り仏、虚空蔵(こくぞう)菩薩のお守り(写真・右)。千支によって自分の守り仏が定められており、三仏堂では8つの仏各々のお守り(各2000円)をいただける。



撮影/橋本哲(ジュディ・オングさんほか)
取材・文/加藤美保
デザイン・レイアウト/桐野幸子
写真提供/日光山輪王寺、日光観光協会、日光山中禅寺立木観音、日光二荒山神社
日光市教育委員会生涯学習課
取材協力/日光総合支所観光商工課